

# 人が生きるには住まいとお金だけでなく声を掛け合う存在が必要

大分大学 大学院福祉社会科学部 准教授 垣田 裕介（かきた・ゆうすけ）  
専門： 貧困問題。福祉政策。



▲資料は豊富だが整理が行き届いてすっきりした研究室。

## ●貧困問題とはどういう内容でしょう？

貧困には複数の面があります。まずお金がないという経済的な問題。お金がないと携帯電話などは持てませんし、友人との付き合いもしくくなる。だんだんと孤立して人間関係の貧困へと進みます。具体的な例でお話ししましょう。1995年に阪神淡路大震災が発生しました。震災後、同志社大学の三塚武男（みつか・たけお）先生が仮設住宅に入った人たちの調査をしました。その結果、仮設住宅で孤独死が頻発していることが分かりました。原因は経済的な困窮と社会的な孤立です。仮設住宅での孤独死は、1995～99年に233件起こりました（兵庫県警調べ）。

福祉の分野では、感覚的な議論が支配しがちです。怠けているから貧しくなるという見方。これは、頑張れば何とかなる、死ぬ気でやればやれないことはないという精神論から来ています。自己責任だから救う必要はない、という考え方も感覚的な議論です。感覚や感情を無視するわけではありませんが、現実を正確に認識しない議論は的外れになります。実態はいったいどうなっているのか、また、対象者が抱えている問題はいったい何なのか、という現状認識が大切になります。そのため現場に足を運び、情報を集めて整理し、状況を見えるようにする必要があります。それが学問としての貧困問題であり福祉政策と言えるでしょう。

阪神淡路の孤独死の事例でいえば、「頑張れ」という掛け声だけでは人は頑張れないということです。住まいや食事の提供は重要です。しかし、孤独死の人数を見ると、仮設住宅を提供してそれで済む話ではなかった。対象者が現実的に頑張っていくには、それなりの基盤の整備が必要だということです。その中で大きなものがお金であり、声の掛け合いです。

## ●教育のポリシーは？

大分大学に着任して最初の2年半ほどは、どこにホームレスがいるのか見えませんでした。大阪では公

園などに集団でいますから目立ちます。目に見える存在ですから何とかしなければいけないという声も上がります。しかし地方都市では状況が全く違っています。人数が少ないので見えにくい。しかし存在する。教育福祉科学部の学生が卒業論文で貧困をテーマにしたいという相談で私の研究室を訪問したのが大分での活動のきっかけでした。この学生はボランティアでホームレス支援の夜回りをしていたからです。

学生には、困窮している人に対する見方や考え方を広げて欲しいと思っています。感覚や感情だけでなく、なぜ今の状況が起きているのか、自分の頭で考えて欲しい。ホームレスは好きでやっているという声があります。しかし、好きでやっているという理由では、なぜホームレスは90年代に急増したのか、なぜ95%が男性なのか、という現実に対して説明が付きません。そこで、学生には思い込みから離れ、自分の目と耳で現実を確かめることの大切さを理解してもらいたいと思っています。（写真と文／安部博文）

## 【垣田 裕介(KAKITA Yusuke)プロフィール】

▼1976年、大阪府堺市生まれ。5階建てビルが70棟立ち並ぶ大型団地で育つ。小学校3年生から地域の剣道教室で剣道を始める。本好きの両親の影響で読書に親しむ。小学校、中学校時代とも特に嫌いな科目はなかった。高校から歴史や国語など文系科目が得意となる。▼1994年4月、同志社大学文学部社会学科産業関係学専攻に入学。三塚武男先生の授業内容に惹かれゼミに入る。就職活動で複数の民間企業から内定を獲得。その頃、三塚先生の紹介で通っていた京都府立大学の武元勲（たけもと・いさお）ゼミが行った大阪市西成区釜ヶ崎見学に参加。仕事を求める日雇い労働者の列、路上で寝ている人、酔っ払い、奇声を発する人、糞尿と消毒薬の強烈な臭いなど、これまで経験したことのない風景にショックを受ける。なぜこうなっているのか、もっと貧困について勉強したいと考え、大学院進学を決意。内定先に辞退を伝えたところ「やりたいことが見つかって良かったな」と激励を受ける。卒業論文のテーマはイギリスの社会政策の歴史。長時間労働の規制や貧困対策の歴史的なプロセスを文献で調べることの楽しさを味わう。1998年3月、同学部卒業。▼1998年4月、大阪府立大学社会福祉学部の研究生になる。大阪市が行う大規模ホームレス調査のメンバーに加わり、夜間に市内を隈なく歩いてホームレスの人数を調べた。▼1999年4月、大阪府立大学大学院社会福祉学専攻科博士前期課程入学。イギリスの社会保障の歴史をテーマに修士論文を仕上げる。▼2001年3月、同博士前期課程を修了。同年4月、同博士後期課程に進む。2002年から大阪保健福祉専門学校や大阪リハビリテーション専門学校で非常勤講師、大阪市立大学都市文化研究センター(COE)で研究員を勤める。▼2004年4月、大分大学大学院福祉社会科学部に着任。▼2010年3月、大阪府立大学より学位取得。博士（社会福祉学）。一般社団法人自立生活サポートセンターこんぱす副代表理事。

